

英語科学習指導案

単元名「Unit 5 What Can Photos Tell?」〔学指要領：(4)イ、(1)エ(ウ) a(b)〕

令和5年〇月〇日(〇) 第5校時 視聴覚室
富岡市立南中学校 3年〇組 指導者 〇〇 〇〇
ALT 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び生徒の実態

	目 標	生徒の実態
知識及び技能	・関係代名詞 who(主格)、that[which](主格)、that[which](目的格)の用法を理解し、紹介活動において、正しく用いることができる。	
思考力、判断力、表現力等	・ALTにもっと日本のことを知ってもらうために、日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	
学びに向かう力、人間性等	・ALTにもっと日本のことを知ってもらうために、日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとする。	

2 評価規準

知識・技能	・関係代名詞 who、that[which](主格)、that[which](目的格)の用法を理解している。 ・関係代名詞 who、that[which](主格)、that[which](目的格)を用いて伝える技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・ALTにもっと日本のことを知ってもらうために、日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。
主体的に学習に取り組む態度	・ALTにもっと日本のことを知ってもらうために、日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 ※別紙参照

4 言語活動の価値

本校の ALT は日本に興味があり、日本の有名人のことを知りたいという思いをもっている。そのため、ALT に日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事を紹介する言語活動は、生徒が必要感をもって相手に伝える活動に取り組めるとともに、伝えたい事実や自分の考えなどの伝える順番を整理し、まとまりのある内容を話す力の育成につながる。また、関係代名詞を活用することで人物や物事について、詳細な説明をしたり、情報を補ったりすることができる。さらに、既習の受け身の文や比較の文、I think～等を用いることで、より分かりやすく適切に表現する力を高めることができる。

II 本時の学習 (8/10)

1 ねらい 教科書本文の内容や表現を参考にしながら、ALT に日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事を伝え合う活動を通して、事実や自分の考えなどを整理し、既習表現を用いて話すことができるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

<p>主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)</p>
<p>1 Warm up : 教科書 P. 71 のリテリングを行う。(10分) S : ○○のことを伝えたな。説明するときは who や which を使っていたな。</p>	<p>○教科書本文の内容や関係代名詞を用いた表現を紹介活動に活用できるように、前時のリテリング活動を振り返るよう促す。</p>
<p>2 JTE と ALT のやり取りを聞き、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事について紹介しよう。</p> </div> <p>S : ALT は歴史上の重要なことも知りたいかな。</p>	<p>○単元の課題を意識して本時の活動に取り組めるように、ALT とのやり取りを行い、ALT の興味があることや知りたいこと等、相手の状況や紹介活動の目的を問いかける。 ○生徒自身が本時のゴールの姿のイメージをもてるように、やり取りを聞いて気付いたことや伝えたいことを問いかける。</p>
<p>3 人物やその人にまつわる物事についてペアで紹介し合う。(30分)</p> <p>① ペアで紹介し合う。 【★発表の補助】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【生徒の発話例】 This is Shibusawa Eiichi. He is a person who started the first bank in Japan. He also made a lot of companies that changed Japan. Sapporo Beer is one of the companies that he made.</p> </div> <p>S : 渋沢栄一のこと分かるかな。富岡製糸場を作ったことも伝えたいな。どのように言うのかな。</p> <p>② 伝えたことや伝えたいこと、用いる表現等をペアやクラス全体で話し合い、内容を見直す。 【★思考の補助】</p> <p>S : 富岡製糸場の写真を見せながら説明した方が伝わるかな。教科書の文に写真を説明する文があったから参考にできそう。I think～を使って、渋沢栄一がどんな人なのかという自分の考えも伝えたいな。</p> <p>③ 再度紹介し合う。 【★発表の補助】</p> <p>S : 渋沢栄一が日本のために行ったことや富岡製糸場との関係が伝わったかな。友達の紹介文は説明につながりがあったな。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>This is Shibusawa Eiichi. He is a person who started the first bank in Japan. He also made a lot of companies that changed Japan. Sapporo Beer is one of the companies that he made. <u>He is the man who built Tomioka Silk Mill.</u> <u>This is a photo that shows Tomioka Silk Mill.</u> <u>I think he is the most important person in Japan.</u></p> </div>	<p>○内容を整理しながら紹介することができるように、人物や物事の写真を提示しながら話す際、ウェビングマップをメモとして使用して紹介するよう助言する。 ○伝える内容や表現を広げたり、表現の正確性を高めたりすることができるように、伝えられたことや表現したいこと、事実や自分の考えなどを伝えている文や関係代名詞を含む文等を紹介し、参考になる表現等を板書する。 ○既習表現を想起し、用いることができるように、表現したいことを分かりやすく言い換えて問いかける。 ○伝える内容や順番に気付いたり、関係代名詞を用いて説明したりできるように、教科書本文を振り返るよう助言する。その際、生徒が参考にした表現をモニタに提示する。 【★提示】 ○内容を整理して話すことができるように、追加・修正箇所とのつながりを意識するよう促す。 ○次時の活動に生かせるように、活動後はメモに内容を追加するよう促す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆評価項目 (思・主) 指導に生かす評価 ペアで紹介し合う場面で、「日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事について事実や自分の考えを整理し、既習表現を用いて話しているか (話そうとしているか)」を評価する。</p> </div>
<p>4 言語面・内容面から学習の振り返りをする。(5分) 【★保存・提出】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><振り返り> S : 前回よりも情報を付け足して、渋沢栄一が富岡製糸場を作ったことも言うことができた。教科書の文を参考にして関係代名詞を使って説明できた。友達の紹介は人物と出来事の説明につながりがあったとても分かりやすかった。富岡製糸場はどんな場所なのかも伝えて、渋沢栄一の偉大さがもっと伝わるようにしたい。</p> </div>	<p>○次時への活動に意欲をもち、自信をもって取り組めるように、振り返りを共有し、本時の活動への取組を称賛する。 【★一覧表示】</p>

(別紙)

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全 10 時間 : 本時第 8 時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主	
1	・ 日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事についての JTE と ALT のやり取りを聞いて単元の課題を把握し、ペアで紹介し合う (試しの活動)。(あ) 単元の課題 ALT にもっと日本のことを知ってもらうために、日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事を紹介しよう。	ねらいに即して指導に生かす評価を行う			
2	・ who(主格)の用法を捉え、人物の特徴についてペアで伝え合う。(あ)(い)				
3	・ that[which](主格)の用法を捉え、場所や物の特徴についてペアで伝え合う。(あ)(い)				
4	・ that[which](目的格)の用法を捉え、人物や場所についてペアで紹介し合う。(あ)(い)				
5~7	・ 教科書本文の概要や要点を捉え、内容や内容に対する自分の考えを伝え合う。(い)				
8	・ 日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事をペアで紹介し合う。(あ)(い)				
9	・ 日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事をグループで紹介し合う。(あ)		●		
10	・ ALT に、日本や世界に影響を与えた人物やその人物にまつわる物事を紹介する。(あ)		●	●	●

*活用する学習支援ソフト等 : (あ) ミライシード (い) デジタル教科書